

せんだいメディアテークの指定管理者候補者の選定経過及び結果について

せんだいメディアテークについて、次のとおり指定管理者の候補となる団体を選定しましたのでお知らせいたします。

1 施設概要及び指定期間

- (1) 施設名 せんだいメディアテーク
- (2) 所在地 仙台市青葉区春日町2番1号
- (3) 指定予定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日

2 選定スケジュール

令和3年7月27日	教育局選定委員会開催（公募によらず選定すること及び申請書について審議）
令和4年1月14日	教育局選定委員会開催（申請書類の審査、候補団体の選定を実施）

3 教育局選定委員会の構成

委員数 計4名（内訳：民間委員3名、市職員委員1名）

4 指定管理者の候補者

- (1) 団体名 公益財団法人仙台市市民文化事業団
- (2) 代表者名 理事長 佐々木 洋
- (3) 所在地 仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27番5号

5 選定理由

せんだいメディアテーク（以下、「メディアテーク」という。）は、美術、映像文化等の振興拠点、また情報メディアを活用した市民活動の推進拠点として設置され、世界的にも評価の高い建築デザインと特徴的な公共空間を生かした施設運営を行うとともに、文化と人を結ぶ結節点として時代に応じた可変性を保ちながら各種の事業を展開することが求められています。

開館から20年余りにわたって、利用者や市民団体など様々な主体とコミュニケーションや連携を積み重ね、施設運営と事業運営を相互に関連させながら、効果的・効率的な施設運営と先駆的な事業を実践してきたところであり、指定管理者選定にあたっては、このような施設の特徴や実績を踏まえる必要があります。

公益財団法人仙台市市民文化事業団（以下「事業団」という。）は、これまで、美術、情報技術など各分野の専門スタッフを配し、市民の多様な文化活動、学習活動を支援してきたほか、市民団体等との連携による事業運営に積極的に取り組み、着実に施設運営を行うとともに、本市の文化を支える人材の育成やネットワークの構築に貢献してきました。

現協定期間においても、現代アートの力を通し、鑑賞だけにとどまらない交流と学びの活動を市内各所で展開するせんだいアート・ノード・プロジェクトを軌道に乗せ発展させてきたほか、東日本大震災後に立ち上げたアーカイブ事業においても、市民・専門家等との協働のもと継続的に復興のプロセスを記録し、発信してきたところです。

今回の選定にあたっては、提出書類及び面接等において、これまでの実績に加え、運営管理に係る基本方針などについて具体的な計画が確認できました。また、新型コロナウイルス感染症などの社会状況の変化に対応し、具体的な感染防止策を継続して行う提案がなされたほか、現状では学習機会が十分ではない障害者の生涯学習の取り組みや、近隣地域と連携した定禅寺通活性化への取り組みの提案など、本市の課題や施策の方向性を踏まえた、新たな取り組みへの姿勢が評価されました。

以上のとおり、メディアテークにおける事業を包括的に実施できる団体は、利用者・団体等と広範囲に及ぶネットワーク・信頼関係を築き、開館以来蓄積した運営ノウハウを有する事業団以外には無いことから、今後も継続してメディアテークの設置目的を達成するため、公募によらず事業団を指定管理者の候補者として選定しました。

6 その他

指定管理者候補者として選定された団体を指定管理者として指定する議案について、令和4年第1回定例会に提出する予定です。当該議案が議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

お問い合わせ先

教育局生涯学習部生涯学習課企画係

(電話番号：022-214-8886)